

2020年7月22日

各位

上場会社名 株式会社フジ・メディア・ホールディングス
 代表者 代表取締役社長 金光 修
 (コード番号 4676)
 問合せ先責任者 執行役員常務経理局長 奥野木 順二
 (TEL 03-3570-8000)

連結業績予想および配当予想に関するお知らせ

2020年5月13日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の連結業績予想および配当予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想

(1) 2021年3月通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	569,400	13,000	18,200	9,000	38.91
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	631,482	26,341	34,854	41,307	178.44

(2) セグメント別 業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高			セグメント利益		
	前期実績 (百万円)	当期予想 (百万円)	増減 (%)	前期実績 (百万円)	当期予想 (百万円)	増減 (%)
メディア・ コンテンツ事業	515,334	453,200	△12.1	13,924	11,700	△16.0
都市開発・観光事業	110,749	107,300	△3.1	13,706	2,800	△79.6
その他事業	19,335	18,600	△3.8	595	300	△49.6
調整額	△13,936	△9,700	—	△1,885	△1,800	—
合計	631,482	569,400	△9.8	26,341	13,000	△50.6

(3) 業績予想の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大やその収束時期による影響など合理的な算出が困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

2021年3月期は、依然として新型コロナウイルス感染症の収束は見通せないものの、経済活動が再開されており、消費動向は徐々に回復の方向に進みながらも、今期中は影響が残ることを前提とし、当社事業への影響を想定した連結業績予想を算定いたしました。

なお、上記見通しは、国内外の景気動向に加え、新型コロナウイルス感染症の収束時期や影響範囲等など外的要因により大きく変動する可能性があり、当社グループの業績に影響を及ぼす事象が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 配当予想

(1) 2021年3月通期配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末 (円 銭)	期 末 (円 銭)	合 計 (円 銭)
前 回 発 表 予 想	—	—	—
今 回 発 表 予 想	18.00	18.00	36.00
(ご参考) 前 期 実 績 (2020年3月期)	22.00	22.00	44.00

(2) 配当予想の理由

2021年3月期の配当予想につきましては、連結業績予想の合理的な算出が困難であったことから未定としておりました。

当社は、連結ベースの目標配当性向40%を基本に、株主への利益還元を重視する観点から配当の安定性等を考慮して決定する方針といたしております。2021年3月期の業績予想は上記の通り厳しい見通しであります。配当につきましては一株当たり年間36円(中間配当18円)とする予定です。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と大きく異なる可能性があります。

以 上